

単元設定の理由・背景

- ①土地域の特長や魅力に気づけるような、子ども達の「興味のアンテナ」を育てたい。
- ②自分の住んでいる土地域に愛着や親しみを持ってほしい。生涯にわたって土地域にかかわる素地を養いたい。
- ③子ども達が気づいたことや学んだことを生かし、子どもたちの手で地域に還元できるような実体験を最大化したい。

単元名

単元目標・つきたい力

「はっけん! 土の町たんけん!」
～町のすてきを見つけよう、伝えよう～

土地域の人や場所について気づきを増やし、自分とどのように関わっているか見出すことができる。
土地域の人や場所に探究的に関わり続け、良さを発見し、地域に向けて表現することができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①自分たちに住む土の町には、多様な人や場所や場所がかかり合っていることが分かっている。 ②気づいたことや発見したことを「町のすてき」としてまとめ、友達や土の町の人々に伝えることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①土の町を思い起こしながら、やってみたいことを思い描き、調べたい場所や人について選び交流することができる。 ②自分たちが調べたことを振り返りながら、土の町の魅力を友達や町の人々に発信している。(パンフレット等) 	<ul style="list-style-type: none"> ①土の町の場所や人々に親しみや関心を持ち、繰り返し関わることを通して、魅力を伝えようとしている。 ②土の町の場所や人々に親しみや関心を持ち、それらの良さや魅力を大切にしようとしている。

時数	活動内容	学習のポイント 学習財・在・材(地域人材含む) カリマネ
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「土の町の魅力をPRするために、『すてき』を発見する」という目標を持つ。 ・すてきとは何か、町の人たちのことを考え、動画で土地区のすてきを広める活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区の魅力を広める取り組みについて目的を明確にする。(生活科) ・すてきとは何か町の写真を見ながら考える。(生活科) ・3年生に町たんけんのことについて聞き、見通しをもたせる。(異学年交流・国語)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・知りたいことややってみたいことを思い描き、役割分担をする。(インタビューの場所担当を決める、インタビュー内容を考える) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生きものクイズを作ろう」や「夏休みの思い出を話そう」などでインタビューの方法を知る。(国語)
6	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に土の町に出て、店や施設を見学したり、人にインタビューしたりしながら、町の魅力を記録する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業所32ヶ所 ・保護者 ・地域ボランティア ・写真の撮り方(生活科 ビオトープ)
13	<ul style="list-style-type: none"> ・「町のすてき」を整理し、動画にまとめる。iMoveを活用しながら、友だちや保護者に土の町の魅力を発信する。 ・児童が作成した動画を、町の人に見てもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観で保護者に動画を見てもらいアドバイスをもらう。 ・地域事業所32ヶ所 ・動画のまとめ方(生活科 ビオトープ)